

令和4年度 北九州市立高見中学校 学校経営方針

北九州市立高見中学校
校長 山本 浩三

校訓

感謝
努力
友愛

学校教育目標

教職員の信頼と協力を基調とし
一人一人の生徒に人権の精神を培い
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな生徒の育成を目指す

本市の教育目標

- ・自立し、思いやりの心を持つ子ども
- ・新たな価値創造に挑戦する子ども
- ・本市に誇りを持つ子ども

目指す学校像

- ①明るく楽しい学校
- ②地域から信頼される学校
- ③学習環境の整った学校
- ④社会の変化に対応できる力を培う学校

会いたい友達・先生、学びたい授業、明日も楽しみな高見中

目指す生徒像

- ①明るく笑顔で、自己の夢を育む生徒
- ②自分・友人・環境を大切にする生徒
- ③自ら学び、粘り強く行動し、やりきる生徒
- ④心身を鍛え、たくましく生きる生徒

自他のよさや可能性を認め合う信頼関係のもと
日々の学習や活動に笑顔で取り組む生徒集団

目指す教職員像

- ①生徒一人一人のよさや可能性を大切に
する、使命感・責任感あふれる教職員
- ②謙虚な心で学び続け、職能を磨き、人間性を高める教職員
- ③保護者、地域との良好な関係を築き、落ち着いた環境づくりに取り組む教職員
“チーム高見”として一丸となり、
情報共有・行動連携を実践する教職員

重点目標と具体的方策

確かな学力の向上

現行学習指導要領及び本市スタカリを踏まえ、人権教育の視点を重視し、生徒一人一人に応じた『わかる授業』の創造（主体的に学びに向かう学習指導、指導と評価の一体化等）による学力向上の推進

- ①わかる授業づくりの5つのポイント（めあて・まとめ・振り返り・話し合う活動・書く活動）を意識した授業、及び新しい学習評価（3観点）に基づく指導と評価の一体化の着実な推進
- ②授業とつながる家庭学習の定着と学び合いの基盤づくり
- ③個に応じた指導と指導方法の工夫・改善（TT授業の実践）
- ④ICT活用の推進（タブレット端末の活用、協働学習）
- ⑤学習支援の充実（質問教室、子どもひまわり学習塾の実施）
- ⑥教科を越えた全校体制による学力調査の実施及び実態分析

心の育ちの推進

自他を大切にする優しい心を持ち、
豊かな人間性を育てる教育の推進

- ①道徳の時間の充実（特別の教科道徳の評価研究）、質的転換
- ②日々の教育活動の中に豊かな体験となる機会の創出
- ③心のバリアフリー推進の取組（視覚特別支援学校との交流）
- ④確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
- ⑤組織的・機動的・積極的な生徒指導の推進
- ⑥朝読書の推進、図書館を活用した読書活動の推進
- ⑦よりよい環境づくりと愛校心を育てる清掃指導の徹底
- ⑧教育環境の整備・充実

健やかな体の育成

健やかな体をつくる指導の充実、体力の向上

- ①基本的な生活習慣の定着（規則正しい生活、食事、睡眠）
- ②家庭科・給食を中心とした食育の推進（残食の減少）
- ③生徒のかけがえのない命を守る健康・安全・防災教育の推進（自殺予防教育、心の健康促進、防災訓練、ウイルス感染予防）
- ④危機管理体制の充実による学校事故の未然防止
- ⑤体育授業を通じた意図的計画的な体力向上への取り組み
- ⑥ICTを活用した主体的な体力テストの実施、結果分析
- ⑦運動に対する関心意欲を高めるクラスマッチ等のスポーツ行事の実施、部活動への参加促進

連携の充実

地域に根差した教育、小中一貫・連携教育の推進

- ①小・中一貫・連携教育の推進、教職員交流、生徒交流の促進（高見小とのGIGAスマートスクールにおける連携の推進）
- ②保護者との良好な人間関係による信頼の構築
- ③地域学校協働活動の推進（学校ボランティアや外部人材の活用）
- ④PTA行事、地域行事への生徒、教職員の積極的参加
- ⑤学校からの積極的な情報発信（学校・学年・学級通信、HP）
- ⑥授業参観、授業公開、体育大会、文化発表会等公開で行う教育活動の充実

時間の遵守 清掃の徹底 あいさつの励行 服装を正す ものを大切にする 話を謙虚に聞く

重点目標達成のために大切にしていきたいこと

◎危機管理体制・対応の徹底

<リスクマネジメント>

- ・いじめアンケート、教育相談等による把握
- ・特別な支援、配慮が必要な生徒の個別の支援体制の充実

<クライシスマネジメント>

- ・「一歩先」「一つ上」の対応
- ・危機管理の「さしすせそ」
最悪の事態を想定、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応
- ・「ほうれんそうかく」
報告、連絡、相談、確認
- ・記憶より記録

◎教職員の同僚性の構築

～協働体制（協働精神）の発揮

- ・お互いの強みを生かしあうチーム
- ・ベテランの知恵を継承するとともに、若手の豊かな発想を支援し、互いに学び合う風通しのよい職場づくり

◎選択と集中

- ・今、何が必要で、何が求められているか

◎計画性

- ・何を、いつ、どのように

◎危機意識

- ・今が当たり前ではない、当たり前を疑う
- ・「ひやり」「はっと」の感覚を大切に

◎教育公務員としての自覚とプライド

- ・綱紀粛正
- ・不祥事撲滅
体罰、不適切指導や言動、飲酒運転…等
- ・TPOに応じた服装や言動
- ◎全員参加、率先垂範、師弟同行
- ◎メンタルヘルス
心と体の声を聴き、健康管理を
- ◎ワークライフバランスの推進と業務改善
定時退校日、部活動休養日の徹底
- ・オフの充実によるオンへの活力
- ・仕事の仕方改革、発想の転換

場面	目指す教師・教職員集団の姿
始業前	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕をもって出勤し、それぞれの場所で生徒を温かく迎える。 ・一人一人に目を向け、明るさ、元気を引き出すあいさつや声かけをする。
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の表情を見ながら出席確認、健康観察を行い、心身の状態をとらえる。 ・目的意識をもって一日のスタートが切れるよう、*朝の学級活動を工夫する。 (*朝のスタートで、所属感、自己肯定感（自分にできるぞ）、責任感（自分がやるぞ）などを感じさせる声かけを行い、級友と共にがんばろうというやる気を引き出す） ・連絡のない遅刻・欠席者があれば、必ず家庭に連絡を取る。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ・*一時間一時間の授業の中に教育のすべてがあることを認識し、毎日の授業に臨む。 (*教科等指導、生徒指導及びその基盤となる教師と生徒との関係性や配慮すべき教育環境などが授業の中にすべて埋め込まれていることを認識する) ・生徒の実態を把握し、向上心に火をつける様々な手立てを常に工夫する。 ・必ず身に付けさせる基礎的・基本的な内容は繰り返し学習などによりしっかり教え込む。 ・生徒一人一人のよさが発揮できるよう、発表や活動の場を工夫する。 ・特別な支援を要する生徒への配慮事項と指導の見通しを教師間で共有し、指導に当たる。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との日常的なふれあいを通して、いじめや心の悩みなどの早期発見、解消に努める。 ・授業教室への行き帰り時や昼休みに生徒の日常的な動線や留まりやすい場所へ連携して姿を見せるなどして、教師のアンテナを高く広げ、生徒の動向を見守る体制づくりに努める。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と共に準備や後片付けをする。 ・班に入って楽しく会食するなどして、生徒とのコミュニケーションづくりに努める。（コロナ収束後）
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な清掃・美化活動を徹底し、心なごむ環境を自分たちの手で創ることの使命と喜びを示唆する。 ・師弟同行、共に働く喜びを生徒と共に分かち合う。
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活を振り返らせ、達成感や明日への課題を共有させることで、明日の学校生活が楽しみと思えるような雰囲気をつくる。 ・交通安全や不審者等に対する注意を促し、安全な登下校への心構えをもたせる。
放課後	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会終了後は、机脚や身の回りを整えてから下校するよう習慣付けを図る。 ・欠席生徒には、必ず電話や家庭訪問等で励ますとともに翌日の連絡をする。 ・最後に教室、廊下、トイレ、集中下足入れ等を点検・整理し、用事もなく残っている生徒がいれば下校や部活動へ促す声かけをする。 ・必要に応じて生徒への教育相談をしたり、教科等の質問に答えたりする。
部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身体的・精神的な発達段階を考慮しながら、主体性、協調性、社会性、思いやりの心などを育て、個々の生徒の思いや願いが達成できるよう適切な指導を行う。 ・共通の特技、趣味、目標をもつ集団の教育力を生かし、校訓「感謝・努力・友愛」を具体的に実践する場としての部活動のあり方を探る。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた啓発的体験活動を通して、生徒の自己理解を深める。 ・生徒の実態や思いを把握し、進路選択にあたって適切な助言や支援を行う。
校内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が率先して行動し、生徒と共に心なごむ温かな校内環境づくりに努める。 ・校舎内外を彩る花々、室内や廊下の壁面を飾る掲示物を生徒と共に工夫し大切にす。

“チーム高見”として一丸となり、常に行動連携をとる姿勢を見せることで生徒を魅せる教職員集団でありたい！